

# 立教法学 第四八号 内容

定価 二四〇〇円

## 論 説

環境監査の構造と理論的課題(上)

——ドイツ環境監査法を素材として——

高橋 信隆

日本の経済社会の法化

——法的コミュニケーションの  
分離という側面について——

濱野 亮

文献研究・宇賀克也著『国家補償法』

橋本 博之

研究ノート

台湾における国際商事仲裁

早川 吉尚

「グローバル・デモクラシー」論の

構成とその課題

——D・ヘルドの理論をめぐって——

佐々木 寛

東征と中国共産党の「統一戦線」政策

——『毛沢東年譜』所収の史料を中心として——

光田 剛

# 立教法学 第四九号 内容

(田宮 裕教授退職記念)

定価 三六七五円

## 論 説

刑事政策とパラダイムの転換……………所 一彦

市民と刑事裁判との距離を縮めるために

荒木 伸怡

放送衛星のデジタル化と規制システム……………舟田 正之

環境監査の構造と理論的課題(下)……………高橋 信隆

相殺関税制度における対象補助金概念の範囲(上)……………東條 吉純

不動産物権変動における公示の原則と登記の効力(二)……………石田 剛

罰金額の変遷……………青木 正良

少年保護手続における一事不再理の効力……………廣瀬 健二

少年非行をめぐる司法と福祉の二極分化……………服部 朗

証人審問権についての予備的考察……………多田 辰也

証明責任の概念について……………飯野 海彦

変動過程にある日本の弁護士(英文)……………濱野 亮

譲渡担保に関する日仏の比較検討(仏文)……………野澤 正充

研究ノート

現代民主主義理論における「信念体系」について

岡田 憲治